

ECO & CSR 報告書 2026



HATSUTA



株式会社 初田製作所

HATSUTAは、かけがえのない人命、財産、文化を火災や災害から守り、環境にやさしい防災システムを社会に提供・提案するトータルソリューションカンパニーです。

社是

誠実と努力と根気を信条とし、
堅実なる経営を通じて、優秀なる製品を市場に送り、
社会公衆の利益向上に寄与する。

環境・品質理念

私たちハツタは、絶えずお客様の立場で考え活動します。
かけがえのない生命と大切な財産を守り、青い地球の環境保全のため、
安心と品質の創出と自然との調和を目指します。

環境方針

製品のライフサイクルを通して
環境負荷を考え、より良い社会に貢献
します。

品質方針

顧客にとって優秀にして価値ある製品を
創造し提供します。

環境・品質基本方針

1. 製品の設計、製造、使用、廃棄に至るまでの全てのライフサイクルにおいて、顧客・環境に配慮し、効率の良い製品造りを目指します。
2. 環境汚染の予防を推進するとともに企業活動全般の変化を評価し、関係部署で環境目標目的・品質目標目的を定め、実行し、定期的に見直しを実施します。
3. 環境及び品質マネジメントシステムに対する定期的な監査を行い、よりよい成果が得られるように継続的な改善活動を展開します。
4. 全ての活動に適用される法規制と周辺地域と環境保全に関する協定、その他の要求事項を遵守します。
5. 当環境・品質方針を従業員等に周知すると共に一般に公開し、又周辺地域との調和を図ります。



会社概要

社名	株式会社初田製作所
代表者名	代表取締役社長 初田和弘
所在地	〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3丁目5番地
創立	明治35年(1902年)12月1日
会社設立	昭和22年(1947年)8月19日
資本金	8千万円
従業員数	845名(2025年12月1日現在)
事業内容	各種消火器、消防設備、自動消火システム、ピット消火システム(YPS)、消火栓、消防用ホース、防災商品の製造・販売、施工、メンテナンス、損害保険代理店業

HATSUTAの原点とロゴマーク

HATSUTAの社章として使用しているダブルリングマークの由来は、HATSUTAの原点である「二重瓶消火器」にあります。

HATSUTAは1902年の創立当時、高木文平氏により発明された「二重瓶消火器」を生産販売していました。この消火器の底は二重になっており、それを図案化したものがダブルリングであると言われております。このマークは創立当時から使用され、1907年に商標登録されました。



HATSUTAの社章
(ダブルリングマーク)



二重瓶消火器

グローバルネットワーク

安心安全に生活を営むことは、政治や宗教、イデオロギーに関係なく、国境を超えて全人類に共通する願いです。

2002年に創立100周年を迎え、翌年2003年に中国・上海に「初田(上海)国際貿易有限公司」を、2005年に中国・寧波に、生産工場である「初田(寧波)消防器材有限公司」を設立しました。中国での生産体制を確立した後は東南アジアへも進出し、2011年にタイ・バンコクに「サイアム・ハツタ」を、さらに、2019年には、ベトナム・ダナンに、HATSUTA AUTOMATIC SAFETY SOLUTIONS CO.,LTDを立ち上げ、海外ネットワークを拡大しています。

変化の激しい時代においても、さらなる飛躍に向けて、着実に堅実に進化を続けてまいります。



編集方針

「ECO&CSR報告書2026」は、HATSUTAにおける「環境負荷の軽減に対する取り組み(ECO)」や、「様々な社会貢献活動を通じた企業の社会的責任(CSR)の達成」について報告することを目的に編集しました。

対象期間: 2024年12月1日～2025年11月30日
※一部の内容に、2026年4月現在の情報が含まれています。

対象範囲: 日本・中国・台湾・タイ・ベトナム

対象組織: 初田製作所及び関連会社

発行年月: 2026年6月

前回発行: 2025年6月

参考にしたガイドライン:

環境省環境報告ガイドライン（2018年版）

表紙の写真



淀川河川公園

HATSUTAの工場拠点1つである枚方市は、大阪府の北東部に位置し、西には淀川が流れ、東には緑豊かな生駒山系の山々があります。淀川では、河川改修によってできた河川敷を活かして、近畿圏の人々に豊かな自然環境を感じて頂くとともに、多様なレクリエーション空間を提供できる様に整備が進められています。

淀川河川公園は、淀川の河川敷を利用して、国民生活における余暇時間の増大、レクリエーション需要の多様化等を背景に昭和47年に事業化された国営公園です。開園以来、利用者数は増大し、平成20年度には年間利用者数540万人となっています。

(枚方市HP、国土交通省 淀川河川事務所HPより)

目次



THE CORE

Who We Are

企業理念・会社概要・グローバルネットワーク	1
トップメッセージ	5
SDGsフレームワーク	6
HATSUTAの取り組み	7



THE OUTPUT

What We Do

命と暮らしを守るトータルソリューション	9
– 事業内容	9
– サービス	11



THE IMPACT

How We Care

従業員の成長と安心の基盤	12
– 特集：育成プロジェクト	13
社会との共生と地域への貢献	14
– 防災スペシャリストの育成と防災教育	14
– 地域・社会への貢献活動	15
地球環境への配慮と未来への責任	16
– サステイナブルな取り組み	16
– 適正な化学物質管理と大気環境保全への取り組み	17
環境データ	18

トップメッセージ

TRY, for Innovation

先端技術で挑む防災のイノベーション ～持続可能で安全・安心な社会の実現へ～

自然災害や大規模火災の脅威への対峙

今日、私たちは気候変動に伴う大規模な自然災害をはじめ、国内外で頻発する深刻な火災被害など、地球上の人々の生命や安全を脅かす多くの厳しい現実と直面しています。特に昨年度は、国内外の市街地や高層住宅での大規模火災、そして尊い命が失われる痛ましい事故が相次ぎ、社会における防災・減災、そして安全対策への要請はこれまで以上に高まっています。

120有余年の歩みとステークホルダーへの感謝

当社は明治35年（1902年）の創立以来、「人命・財産・文化を火災から守る」という企業理念を原点に、社会の安全・安心を提供し続けるため企業活動に取り組んでまいりました。一世紀を超えて操業を続けられましたのも、時代と共に変化する社会環境に適応し、お客様のニーズに真摯にお応えしてきた結果であり、すべてのステークホルダーの皆様の支えに深く感謝申し上げます。

先端技術による防災の進化

現在、私たちは中期経営計画のスローガンに「TRY FOR INNOVATION」を掲げ、さらなる挑戦を続けています。昨今、人工知能（AI）やドローン、自動運転、5Gをはじめとする科学技術が飛躍的な発展を遂げて

います。当社はこうした新しい技術や柔軟な考え方を積極的に取り入れ、最先端企業との提携を通じたこれまでにない製品やサービスの開発・商品化に注力しております。変化する市場環境にも柔軟に適応できる強固な製造・営業基盤を整え、持続的な成長に向けた歩みを進めています。

安全・安心な社会と持続可能な未来の創造

これからも、環境の維持保全や脱炭素社会の実現といった国際的な課題に真摯に向き合い、企業の社会的責任を果たしてまいります。常に「挑戦の心」を胸に、先端技術を用いた新たな価値を創造することで、世界の火災被害や自然災害によるリスクの低減に努めてまいります。この「確かな安全・安心を提供する企業」としての誇りと課せられた使命を全うし、私たちは皆様と共に、より豊かで持続可能な未来を切り拓いてまいります。

株式会社初田製作所

代表取締役社長 初田 和弘

HATSUTAのSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2022年12月に120周年を迎えたHATSUTAは、
 人命・財産・文化を火災から守ることを企業理念とし、
 創業より人と社会を重視した経営方針を実践してまいりました。
 誰一人として取り残さない（Leave no one behind）というSDGsの理念に賛同するとともに、
 企業成長や経済活動で発生する社会への不利益を自分ごとと考え、
 社会包摂や環境課題への取り組み行動（SDGs活動）を推進いたします。
 SDGsの達成に向けて具体的アクションを起こし、
 社会に貢献しながら、更なる成長を目指します。

HATSUTAのビジョン・バリューを軸として、国連の持続可能な開発目標（17項目）を指針に、
 3つのサステナビリティに向けての重点課題を設定いたしました。
 詳細は各ページでご紹介いたします。

HATSUTA品質による、安全・安心な社会への取り組み

- ・安全対策強化サポート
- ・全ての人使いやすい製品開発への取り組み
- ・安全・安心のための消防設備機器を理解・体感していただく取り組み



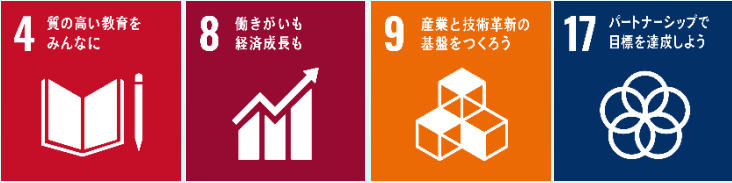
環境にやさしい防災システムの創造

- ・サステナブルな取り組み
- ・地球温暖化対策への貢献
- ・オゾン層保護運動への取り組み



社会を取り巻く全ての人々の幸せを実現

- ・社員への投資を推進し、社会課題へ貢献
- ・基礎教育を推進し、防災業界へ貢献
- ・防災プロ人材育成を推進し、社会や環境課題へ貢献
- ・東南アジア向け学校建設プロジェクト S-PROJECT



HATSUTAの取り組み

私たちのすべての活動の根底には、豊かな未来を想う「思いやり」の心があります。本ページでは、エコロジー、ユニバーサルデザイン、クオリティを追求するブランドの象徴「EUQマーク」と、この3つのテーマを具現化し、責任ある行動を実践するための組織体制についてご紹介します。

わたしたちHATSUTAが未来のためにできること



EUQ-MARK's Policy

初田製作所は「思いやり」をキーワードに、「エコロジー」「ユニバーサルデザイン」「クオリティ」をブランド創造の核としてきました。私たちはこの3つのテーマを具現化した「EUQマーク」を2007年に制定いたしました。

3つのテーマの頭文字、E・U・Qを形状として一番安定感があり、美しいとされる黄金比率に基づいた楕円の形に組み合わせ、「グリーン（大地）」「ピンク（やさしさ）」「ブルー（安心感）」、の3色で表現しています。

美しい地球を守るべく、安全・安心で高品質な製品・サービスの提供を行い、ユーザーから選ばれるHATSUTAブランドを目指してまいります。

Ecology

環境にやさしい製品開発を



Universal Design

子供にも、ご年配の方にも、扱いやすい消火器の開発を

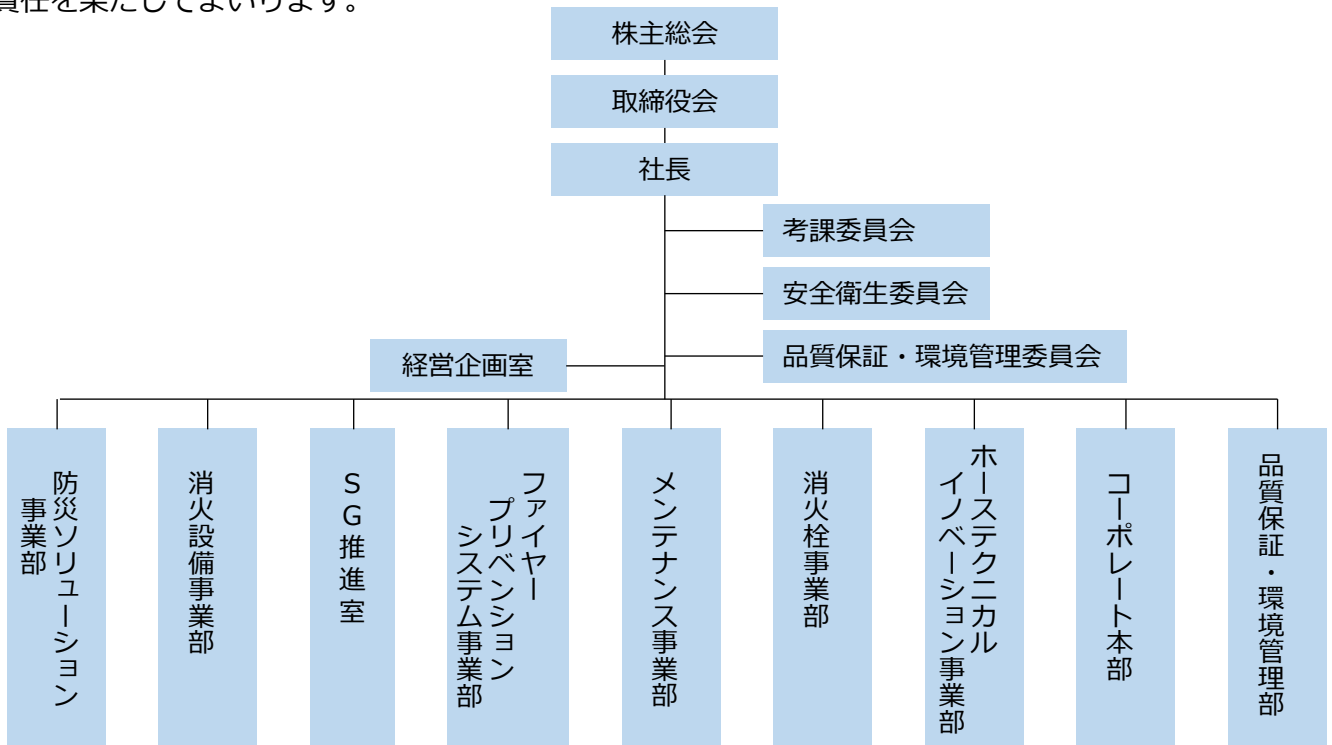


Quality

より安全で、より安心な品質を

組 織 体 制

当社は、事業活動を通じ発生する環境のリスク及び機会に効果的に対応するため、ISO9001:2015、ISO14001:2015の規格要求事項に基づき、品質・環境マネジメントシステムを確立しています。マネジメントシステムを運用し、維持しながら、その有効性の持続的な改善に取り組み、一層の社会的責任を果たしてまいります。



(2026年3月31日現在)

ISOマネジメントシステム認証取得状況

認証取得	認 証 取 得 事 業 所	
年月日	ISO9001	ISO14001
1999/8/20	本社・本社工場	
2002/12/13		本社・本社工場
2004/8/6	東京支社・関西支社	
2007/9/21	北海道支店・東北支店・中部支社・北越支店・中国支店・四国支店・九州支店	東北支店・中部支社・中国支店・九州支店・ハツタテクノ
2008/7/11	初田(寧波)消防器材有限公司	
2011/6/13		北海道支店・北越支店・四国支店
2014/5/16	ハツタテクノ	
2014/6/25	初田(上海)国際貿易有限公司	
2017/6/26	初田(上海)国際貿易有限公司、初田(上海)国際貿易有限公司 ISO 9001:2015年版 / 初田(上海)国際貿易有限公司、初田(上海)国際貿易有限公司 ISO 14001:2015年版 認証取得	
2017/9/29	国内全部門 ISO 9001:2015年版 / ISO 14001:2015年版 認証取得	
2023/1/20	消火栓事業部・ホーステクニカルイノベーション事業部	消火栓事業部・ホーステクニカルイノベーション事業部



命と暮らしを守る トータルソリューション

HATSUTAは、環境にやさしい各種消防用設備等の製品に加え、防火・防災のプロとして、ユーザーの不安や悩みを解消する様々なコンサルティングサービスを社会に提供しています。

事業内容

防災ソリューション事業



ユニバーサルデザインで開発された各種消火器、簡易パッケージ型消火システム等に加え、顧客サイドの様々なニーズやケースに最適な防災機器を開発し、対応する事業を展開しています。

HTCサービスをベースにリスク診断をすることで、よりBCPを考慮し、安全な環境社会へ防災機器を提案しています。

消火設備事業



消防設備の機器製造から設計・施工・保守までに対応する事業を展開しています。

建築物、プラント物件などを専門的にとらえ、消防法に則った最適な消防設備を提供します。

昨今では、コンパクトな介護施設向けパッケージ型自動消防設備をラインナップし、高齢者の皆様にも安全で安心な生活環境を提案して参ります。

ファイアープリベンションシステム事業

工場に於ける安全性の向上に寄与し、企業のBCPの更なる充実に貢献するべく、各種生産設備機器の火災リスクを抑制し、火災による損失を低減させる事業を展開しています。

様々な生産設備機器毎に最適な消火システムの製造・設計・施工・保守までを一気通貫で対応するサービスを提供しています。





メンテナンス事業



現状お使いになっておられる各種消防用設備や機器に対する専門知識を有するプロが迅速・的確に行うメンテナンス事業を展開しています。

消防法の点検基準に則った消防設備に関わる点検やリニューアル、建築設備点検を行い、設備機器の状態を常時スタンバイOK状態とし、万一の火災発生時における顧客の安全を提供しています。

消火栓事業



屋内消火栓格納箱をはじめ、消火設備機器の各種格納箱を製造販売する事業です。

物件ごとのオーダーメイド対応を得意とし、空間に調和するデザイン消火栓の提案も行っています。

消火栓フレキシブルユニットなど、施工性が向上する製品も提案しており、現場の多様なニーズにお応えしています。

消防用ホース事業



消防用ホース事業は、現場で生きるタフなホースを開発テーマとし、高強度ホースをご提案しています。使い勝手に定評のある当社のカラーホースは、着色糸（先染めの糸）を使用して生産しています。

また、消防用ホースへの知識・理解を深めて頂く取り組みの一環として各消防関係機関への消防用ホース研修の実施や実践的トレーニング「YTT(YOKOIPRO Trail Training)」を行っています。




製品情報は、当社ホームページ (<https://hatsuta.co.jp/products>) よりご覧いただけます。

サービス

HATSUTAは、様々なサービスで、社会の安心・安全を支えます。

火災発生リスク診断サービス（HTCサービス）

火災発生リスク診断サービス (HTCサービス)	消防点検
 火災発生リスクをいかに無くすかの診断 発生した火災による被害をいかに最小限に留めるかの提案 【消防法に捉われない】	既設消防用設備の 動作確認 【消防法】

HATSUTAの「火災発生リスク診断サービス」では、診断を通じてお客さま個別の火災発生リスクを発見し、その後の安全対策強化のお手伝いをさせていただきます。

損害保険のご案内（損害保険代理店業）

当社が長年培った消防防災機器メーカーとしての知見やノウハウを活かし、個々のお客様に応じたリスクマネジメント強化のご提案まで、ワンストップサービスでさせていただきます。

取扱品目：火災保険、自動車保険、賠償責任保険、傷害保険 他



体験型防災スキルセミナー（SPSクラブ（Hatsuta Super Pro Shop Club））

消火設備に係るスキルアップの場として、体験型総合研修センター「実消館」を使った、SPSクラブマイスター研修を開催しています。



YOKOIPRO Trail Training

YOKOIPROでは、消防・防災に関する様々な実践的トレーニングを提供しています。



YOKOI Fire Base（燃焼再現施設）での DC（Demonstration Cell）体験

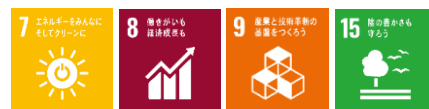
「要救助者と消防隊員の双方が無事に火災現場から戻ってくる」を消火機材と設備の開発テーマとして、燃焼訓練施設を設立しました。2階や地下を想定した濃煙熱気的环境下で消火や救出活動の訓練が可能です。

製品情報は、当社ホームページ (<https://hatsuta.co.jp/service/>) よりご覧いただけます。



従業員の成長と安心の基盤

「従業員が幸せに生き生きと働くことが、未来へのインパクトを生み出す（HOW WE CARE）」——。その想いのもと、ワークライフバランスの推進、心身の安全衛生など、成長と安心を支える4つの取り組みをご紹介します。



ワークライフバランスの実現

年次有給休暇の取得促進と長時間労働の削減

有給休暇取得推奨日を設け、積極的に有給休暇を利用できる環境を整えています。また、一部の職種における時差出勤の導入や業務の平準化の取り組み等により、長時間労働の削減に努めています。



仕事と生活の両立

育児休業や看護休暇、介護休暇を利用できる制度を整え、ライフステージの変化があっても、仕事を継続・両立できる環境を整えています。

多様な働き方の普及

テレワークの実施や、短時間勤務制度、時間単位の有給休暇取得制度など、従業員それぞれのライフスタイルに合わせて柔軟な働き方が選択できる環境の整備を進めています。



福利厚生の拡充

35歳以上の高度健康診断補助、傷病手当金の給付や、有休プール制度など、社員の心身の健康を優先し安心して長く働ける制度を整えています。また、社内部活動を通して社員間の親睦を深める取り組みも進めています。

資格取得の奨励

法定資格や社内資格の取得を奨励することにより、従業員の能力向上に取り組んでいます。「火災リスク簡易診断認定診断員」は研修及び実地での診断実習を併せた認定制度となっています。また、取得を奨励している消防設備士などの法定資格については、社内勉強会の開催や学習資料の配布などを実施しています。

労働安全衛生の活動

「安全で健康的な働きやすい職場」を目指して

50名以上が在籍する各拠点で、安全衛生委員会を組織し、毎月安全衛生委員会を開催しています。他の支店においても安全衛生推進者を任命し、定期的に労働安全衛生に関する課題の審議を行い、安全で健康的な働きやすい職場の実現に向けて活動しています。

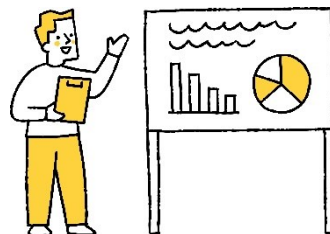


産業医・保健師による面談、ストレスチェック

産業医による健康相談を開設し、長時間労働該当者の健康面談だけでなく、希望者も健康面談が受けられる環境を整えています。従業員のメンタルヘルス対策としてストレスチェックを行うとともに、ストレスチェックの結果を分析することにより「仕事によるストレス」の緩和・減少に努めています。

労働安全衛生コンサルタントや社外講師による講演

全国安全週間や全国労働衛生週間には、労働安全衛生コンサルタントを迎え、労働災害の防止やメンタルヘルスについて講演いただき、自己管理も含めた職場環境の改善に努めています。また、交通災害ゼロを目指し、社外講師



による講習会を実施し、従業員の安全運転意識の向上に努めています。

内部通報制度

コンプライアンス違反や迷惑行為のない職場づくりの一環として、内部通報制度運用規程を制定し、従業員が総務部門へ直接報告できる環境を整えています。



特集

育成プロジェクト

防災のプロ人材育成を目指した全社横断型育成企画

我が国は、少子高齢化に伴う労働人口減少、人材不足が社会全体の課題になっております。昨今の求人・採用活動における企業選びの基準は、報酬だけに捉われない、人と人との繋がりや働き甲斐、個人成長が重要テーマになっています。

これらの環境変化に順応していくために、当社では2024年10月より全社横断型プロジェクトとなる育成プロジェクトを立ち上げました。

教育体制

当社組織の永続的強化を図ることを目的として、各事業部において、部門毎にリーダー、サブリーダー、育成推進メンバーもしくは教育担当者、指導員を配置して新人社員への教育体制を整え、2年間で一定レベルの力量を習得できるためのプログラムを用意しています。また、部門横断の『営業企画検討準備室 全社育成企画』を当プロジェクトのステアリングコミティとして配置し、教育内容の統一や、全社育成体制の構築、指導員のレベルアップ等に繋がっています。

組織的な取り組み

人材育成にあたっては、各部門で育てたい人物像に



集合研修（大阪）の様子

沿った厳選のカリキュラムを構築し、育成運営に取り組んでいますが、その中で「良いツールは全員で共有!!」にこだわり、教育ツールの標準化、社内共有を図っています。さらに、工場研修やSPSクラブマイスター研修（p14）を活用し、事業部横断勉強会も推進しています。

このような教育を進めながら、3ヶ月に1度のリーダー・サブリーダー会議や、2ヶ月に1度の全社育成企画会議にて、育成情報の相互共有を図り、社内ポータルサイト上で積極的に情報発信を実施しています。



全社育成企画会議の様子

育成プロジェクトの効果と今後の展望

育成プログラムを受講した新人からは、「疑問に思ったことを指導員にすぐに答えてもらえるよい関係性ができている」というような声があり、指導員からも、「教育ツールが育成指針になっているため、進め方が明確である」という良い点が多く挙がっています。一方で、新人・指導員両者から、「講師側の力量によりレベルの高低があると感じる」「自分自身が教育に時間を割くことができている」というような課題も抽出されています。

今後も、本育成プロジェクトの改善と推進を通じて、社内の育成文化を根付かせるとともに、持続可能な社会を担う防災のプロ人材を世に送り出し、社会公衆の利益向上に寄与してまいります。



社会との共生と地域への貢献

創立120年を超える歩みの中で、当社は地域社会との共生を深く進めています。本章では、豊かな街づくりに寄与する「地域・社会への貢献活動」と、防災ノウハウを次世代へつなぐ「防災スペシャリストの育成と防災教育」という、当社の社会貢献を支える2つの柱についてご紹介します。



防災スペシャリストの育成と防災教育

防災のプロとして培ったノウハウを活かし、当社は国内外で社会の担い手育成を推進しています。社外の皆様も共に学ぶ「SPSクラブマイスター研修」や「セールスカレッジ」、東南アジアでの学校建設（S-PROJECT）など、未来の安心を支える教育支援活動に取り組んでいます。

SPSクラブマイスター研修

体験型消火設備機器総合研修センター「実消館」に於いて、消火設備に関する技術習得を目的とした「体験型スキルアッププログラム『マイスター研修』」を設備別に開催しています。

水

スプリンクラー設備、
屋内・屋外消火栓設備

泡

たんぱく泡消火設備、水成膜泡消火設備

ガス

IG541消火設備、二酸化炭素消火設備、
自動消火装置（キャビネックス）

粉末

粉末消火設備

その他

防雷神（内部雷保護システム）、
厨房用自動消火装置、
自動火災報知設備等



- 屋内消火栓操作体験 -



- 消火薬剤充填体験 -

セールスカレッジ

新しく防災業界に就労された初心者向けの基礎学習プログラムです。年1回～2回開催し、毎回、全国から多くの方に受講いただいています。



東南アジア向け学校建設プロジェクト S-PROJECT

消防設備機器の売上の一部で学校を建設し、子どもたちに教育の機会を提供します。





地域・社会への貢献活動

当社は、創立120年以上の歴史の中で培った防災への知見を活かし、地域社会の安全・安心と持続可能な発展に貢献しています。「実消館」や「ビックスギャラリー」での体験型見学をはじめ、企業版ふるさと納税、地域スポーツの応援、そして日々の敷地外清掃まで、多角的なアプローチで地域に寄り添う当社の社会貢献活動をご紹介します。

安全・安心のための消防設備機器を理解していただく取り組み

ビックス ギャラリー

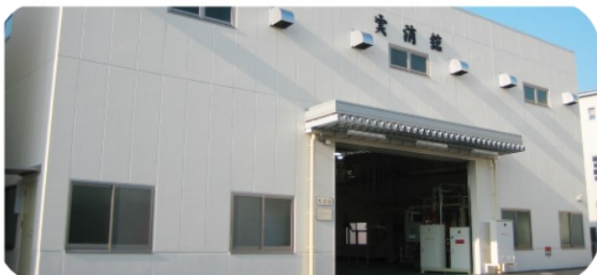
Bix Gallery

訪れた皆様に「たくさんのビックリ」を発見していただきたいという思いが込められた展示室です。当社が取り扱う様々な製品やサービスをご覧いただけます。



じっしょうかん

実消館



各種消火設備の実物をオープンスタイルで設置していますので、消火設備をご理解いただきやすく、消火器の放出や設備操作、設備点検等も実際に体験していただけます。

- 『実』 実際体験を柱とした研修を行うことを目的に設立
- 『消』 消防防災業界の成長と発展を目指し、引いては国家と国民の安全向上に寄与することを目的として設立
- 『館』 建物の意

企業版ふるさと納税の実施

当社は、「人命・財産・文化を火災から守る」という企業理念のもと、地域社会の防災力向上を目指しています。2025年度も企業版ふるさと納税制度を活用して、6自治体へ地域の防災力向上と安心・安全なまちづくりの支援に取り組みました。今後も、防災機器メーカーとしての専門性を活かし、各地域の特性や需要に応じた支援を継続的に実施し、地域社会へ貢献してまいります。

「スペリオ城北」とのスポンサー契約

当社は株式会社 ASSIST (Football Assist) が運営する社会人サッカークラブ「スペリオ城北」とのスポンサー契約しています。今後もスポンサーとして、クラブの成長と地域社会の発展を支援してまいります。また、スペリオ城北とのパートナーシップを通じて、地域の防災意識向上や、スポーツを通じた健全な街づくりにも貢献してまいります。

敷地外清掃

枚方本社工場、枚方第2工場では、周辺の敷地外清掃を定期的に行っています。従業員の美化意識の向上と地域や周辺の環境美化活動を推進しています。





地球環境への配慮と未来への責任

製品のライフサイクルを通じ、資源の有効活用と環境汚染防止に日々の活動で取り組んでいます。本章では、リサイクル等の「サステイナブルな取り組み」と、ハロン回収やデコ活などの「化学物質管理と大気環境保全」の2つの軸をご紹介します。

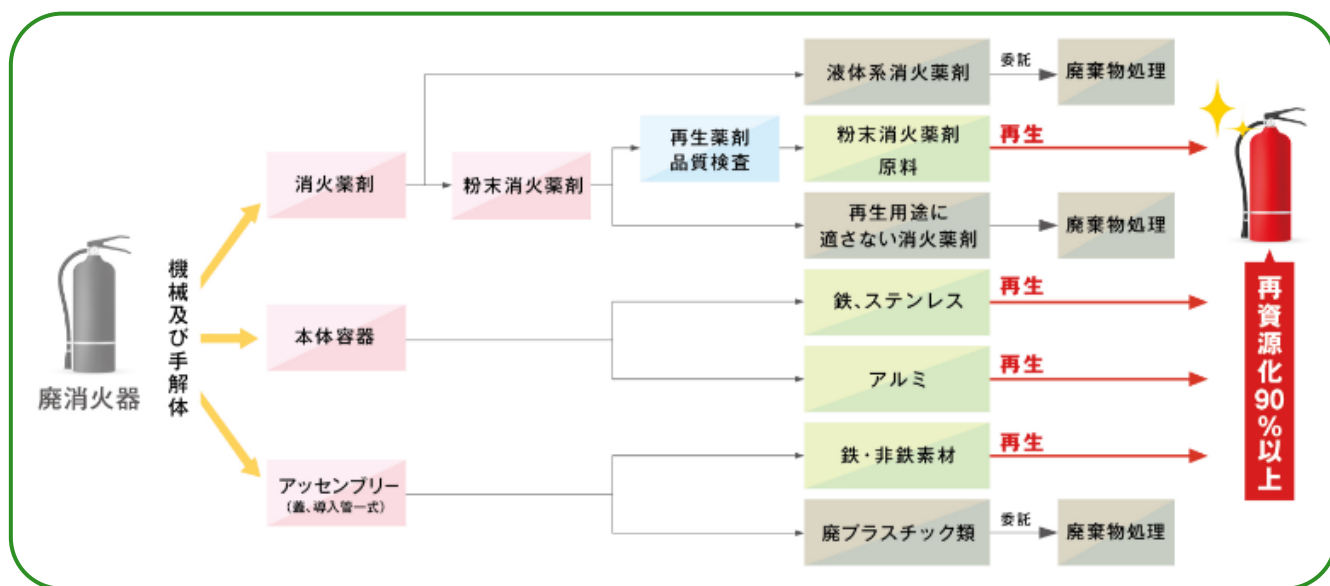


サステイナブルな取り組み

廃消火器のリサイクル

当社は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の「広域認定制度」の認定を受け、市場から回収した廃消火器をリサイクルしています。廃棄処分となった消火器は、廃消火器リサイクルシステムにより回収し、解体処理を行い、消火薬剤・容器・部品等に分別することにより、再資源化しています（再資源化率は90%以上）。廃消火器からとりだされた消火薬剤

は異物・変質物を除去し、HATSUTA独自の撥水処理を行って均質化し、原料化します。そして蛍光X線分析装置による厳しい検査に合格し、現行製品と同等の性能・品質を有するものだけが消火薬剤としてリサイクルされます。新たに製造する粉末消火薬剤にはリサイクルした消火薬剤を60%～80%の割合で混合使用しています。



ペットボトル再生糸を利用したホースの製造

使用済みペットボトルを原料として作られた再生ポリエステル糸を使用し、しなやかで耐摩耗性に優れた、取り扱いやすい製品も製造しています。当社では一部の消火栓のホースに利用しています。ペットボトルの本数に換算すると、65Aホース1本あたり167本のペットボトルを使用しています。



ECOホースを使用した広範囲型2号消火栓



適正な化学物質管理と大気環境保全への取り組み

当社は、消火設備等に不可欠な物質（ハロン）の適正管理と、各拠点における地道な省エネルギー活動の両輪で、地球環境への負荷低減に努めています。

ハロン代替消火剤の活用

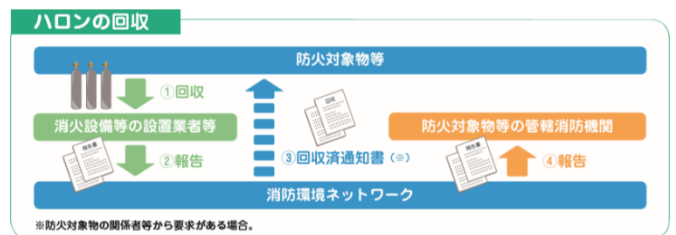
ハロンはもっとも効率的なガス系消火剤として広く利用されてきましたが、地球保護の役割を果たすオゾン層を破壊するためモントリオール議定書に基づき製造中止となりました。

ハロンの代替消火剤としてHATSUTAが取り扱う『IG-55』『IG-541』は、大気中に存在する窒素・アルゴン・二酸化炭素（IG-55の場合は二酸化炭素を含まない）の混合ガスですので、オゾン層を破壊することのない、地球環境保全に寄与するガス系消火剤です。

ハロン消火薬剤回収システム（消防環境ネットワーク）

1994年以降、ハロンの生産が全廃されたことを踏まえ、消防環境ネットワークでは、「ハロンの適正な管理・回収・再利用」や「リサイクルハロンの活用による必要量の供給」、「ハロンのみだりな放出の防止」などの普及啓発活動に取り組まれています。

当社も、地球環境保全に寄与するため積極的に取り組んでおります。



消防環境ネットワークHPより

デコ活 くらしの中のエコろがけ

「デコ活」は、2050年カーボンニュートラル及び2030年度温室効果ガス削減目標の実現に向けて、企業・自治体・団体等と一緒に、豊かな暮らし創りを強力に後押しすると共に、新たな消費・需要の喚起に繋げる取り組みです。

当社も「デコ活」に賛同し、脱炭素社会の実現という目標に向け、温室効果ガスの排出量削減のために各事業所の実情に合わせた、できるところから取り組んでいます。

省エネルギー化

「オフィスの照明をLEDに変更し、「始業前や昼休憩時に消灯」するなどして、電力の削減に努めています。COOL BIZ期間中は、ノーネクタイ・ノージャケット・ポロシャツの着用を励行しています。また、室温が28℃を超える場合には冷房を使用するよう努めています。

再生エネルギーの活用

枚方本社工場内、リサイクル工場の屋上に太陽光発電設備を設置し、再生エネルギーの活用に努めております。



ペーパーレス化

文書類や FAX を電子化し、紙の削減に努めています。



環境データ

当社では、エネルギー使用量（エネルギー起源二酸化炭素排出量を含む）、水使用量・産業廃棄物排出量の監視を行っています。

集計範囲：国内生産拠点

分野	項目	単位	2024年度 ^{*1}	2025年度 ^{*1}
エネルギー	電力使用量 	千kWh	2,358	2,818
	ガス使用量 	千m3	86	91
	CO2排出量 (エネルギー起源) 	千t-CO2	1.5	1.7
水	水使用量 	千m3	14.7	14.9
廃棄物	廃棄物排出量 ^{*2} 	t	207	224

*1：官庁年度

*2：産業廃棄物管理票より集計



 株式会社 初田製作所

 www.hatsuta.co.jp

お客様相談窓口 **0120-82-2041**
電話受付時間 10:00~12:00,13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

回収・リサイクル
相談窓口 **0120-82-2306**
電話受付時間 10:00~12:00,13:00~17:00(土・日・祝日を除く)
<https://fecycle.jp>

HATSUTA ECO&CSR 報告書 2026

お問い合わせ先

株式会社 初田製作所
品質保証・環境管理部
〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3丁目5番地
TEL (072) 856-1394 FAX (072) 850-9710
Mail kankyo@hatsuta.co.jp

